



社協シンボルマーク
「社協」は社会福祉協議会
の略称です

ふだんの ① ② ③ ④ ⑤ ⑥ ⑦ ⑧ ⑨ ⑩ ⑪ ⑫ ⑬ ⑭ ⑮ ⑯ ⑰ ⑱ ⑲ ㉰ ㉱ ㉲ ㉳ ㉴ ㉵ ㉶ ㉷ ㉸ ㉹ ㊀ ㊁ ㊂ ㊃ ㊄ ㊅ ㊆ ㊇ ㊈ ㊉ ㊊ ㊋ ㊌ ㊍ ㊎ ㊏ ㊐ ㊑ ㊒ ㊓ ㊔ ㊕ ㊖ ㊗ ㊘ ㊙ ㊚ ㊛ ㊜ ㊝ ㊞ ㊟ ㊠ ㊡ ㊢ ㊣ ㊤ ㊦ ㊧ ㊨ ㊩ ㊪ ㊫ ㊬ ㊭ ㊮ ㊯ ㊰ ㊱ ㊲ ㊳ ㊴ ㊵ ㊶ ㊷ ㊸ ㊹ ㊺ ㊻ ㊼ ㊽ ㊾ ㊿

2018.3.1

No.77

(年4回発行)

区社協だより

多摩



この広報紙は一部共同募金の
配分金で発行されています。



おかげさまで70周年

今年度も、10月1日から12月31日までの「赤い羽根共同募金」、
12月1日から12月31日までの「年末たすけあい募金」にご協力く
ださいまして誠にありがとうございました。

募金総額

20,980,906円

※平成30年2月8日現在

たくさんの
善意が集まり
ました!



募金種別	赤い羽根	年末たすけあい
戸別募金	10,686,851	7,961,959
街頭募金	770,797	85,884
法人募金	574,500	
校内募金	303,385	
職域募金	416,128	
その他募金	173,122	
イベント募金	8,280	
合計	12,933,063	8,047,843

(単位：円)



※戸別募金：地域の町会・自治会、マンション管理組合、民生委員などの地域の方にご協力いただいて集める募金です。



共同募金
ご協力ありがとうございます
10月1日～12月31日

赤い羽根募金 *つかいみち*

共同募金は、都道府県ごとに行われています。災害の時などの例外を除き、集まった募金は神奈川県内の福祉活動に活用され、寄付した皆さんの身近な地域で役立てられている募金です。

年末たすけあい募金 *つかいみち*

年末たすけあい募金は、集めた募金を全て多摩区内の地域福祉活動に活用します。平成29年度の募金の一部を活用して、障害のある方がいらっしゃる世帯や高齢世帯等に民生委員児童委員を通じて「年末慰問金」を5,000円配布しました。

第4期地域福祉活動計画スタート!

2018年度から2023年度の6か年計画である第4期地域福祉活動計画がスタートします。

今回の計画策定のポイントとして、川崎市地域包括ケアシステム推進ビジョンにおける取組の反映と、「我が事・丸ごと」の地域共生社会づくりの推進、行政との連携促進を掲げました。地域福祉活動計画は、多摩区社会福祉協議会が進める地域福祉活動を地域住民や地域の福祉関係者の参画のもとで計画的かつ着実に実施するために活動の方向性や目標を示したものです。

今後も住民主体・住民本位の協議体として、引き続き地域の皆様とともに地域共生社会の実現を目指し歩んでまいりますので、ご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

基本理念

「多様な主体と多世代がつながる支え合いのまち多摩区」

基本目標

- 1 多様な主体と多世代がつながる地域づくり
- 2 見守り・支え合いのネットワークづくり

行動計画

- ① 住民が主体の地域づくり
- ② 支援を必要とする人が的確に支援につながる仕組みづくり
- ③ 住民本位の福祉サービスの提供
- ④ 連携の取れた施策・活動の推進

第4期地域福祉活動計画は冊子と概要版を福祉パルたまにて配布する予定です。また、音声版を作成いたします。

多摩区ボランティアセンター 運営委員を募集!

ボランティアセンターは、ボランティアについての講座や広報啓発活動を目的に活動しています。委員の皆さんで講座の企画運営やイベントの開催などを行います。町会や民生委員など様々な団体から参加いただく委員の方とともに、一緒にボランティア事業を担ってみませんか。

福祉教育推進委員を募集!

福祉教育推進委員会は、多摩区内での福祉教育の普及・推進のために、地域住民を対象にしたセミナーや、教職員と福祉学習支援者を対象にした交流会、親子を対象とした講座等の企画・運営を実施しています。委員の一員として、積極的に企画・運営に携わってくださる方を募集します。

- 任期 2018年4月～2020年3月
 - 人数 若干名
 - 応募資格
 - ① 区内在住で18歳以上の方(2018年4月1日現在)
 - ② 年9回程度、主に平日に開催する委員会と各種事業に出席・参加できる方
 - ③ 運営に積極的に参加できる方
- ※規定により旅費を支給します

■ 申込方法<共通>

3月31日までに福祉パルたまなどで配布中の応募用紙かハガキに、住所、氏名、年齢、性別、職業、電話番号、応募動機を記入し、郵送かFAXでお申込みください。

※ハガキで各委員に応募する場合は、「福祉教育推進委員 応募」・「ボランティアセンター運営委員 応募」とご記入ください。

〒214-0014 多摩区登戸1763 ライフガーデン向ヶ丘2階 福祉パルたま内
多摩区社会福祉協議会
TEL 935-5500 FAX 911-8119

- 選出方法 申込後、面談の上、選出します(日時は別途ご連絡します)

第10回多摩区社会福祉大会開催

2018年2月14日(水)多摩市民館大ホールにて「第10回多摩区社会福祉大会」が開催されました！

大会当日は、多摩区民への社会福祉に関する啓発とともに、地域福祉に貢献された個人・団体に感謝を表することを目的として、記念式典と記念映画上映を実施しました。

第一部の記念式典では、多摩区の地域福祉の推進に貢献された6名8団体の方に、田村会長から感謝の言葉とともに感謝状が贈呈されました。

第二部の記念映画上映では、「くちづけ」という作品を上映いたしました。知的障害者の自立支援のためのグループホームで暮らす娘と彼女に無償の愛をささげる父親との深い愛の物語で、貫地谷しほりさん、竹中直人さんの熱演にご参加いただいた皆さまから、感動したといったお声を数多くいただきました。

この多摩区社会福祉大会に、多くの区民の皆様がご参加くださったことに、あらためて感謝申し上げます。



**第10回多摩区社会福祉大会
表彰者一覧**
(順不同・敬称略)

【社会福祉事業貢献者及び団体】

稲田地区社会福祉協議会	鈴木久夫
菅地区社会福祉協議会	小嶋晴夫
中野島地区社会福祉協議会	鹿山幸恵
登戸地区社会福祉協議会	吉澤忠夫
生田地区社会福祉協議会	月見台自治会
川崎断酒新生活会多摩支部	
みみちゃんの会	

【寄付者及び団体】

宮部 勲	セレサ川崎農業共同組合
宮部 聡	川崎国際生田緑地ゴルフ場
	長尾の里あじさいまつり実行委員会
	生田緑地運営共同事業体
	ゆりストア

福祉教育セミナー区域版 「食」と「心」を支えるフードバンクかわさき を開催しました



福祉に関心を持ってもらい、福祉についての理解者・支援者(ボランティア等)を増やすためのきっかけになるような場、そしてその気付きを地域に広げることを目的として福祉教育セミナー区域版を、平成29年11月9日(木)に多摩市民館3階大会議室で開催し、47名の方が参加されました。

フードバンクかわさき代表の高橋氏を講師としてお招きしてお話しを聞き、今後自分たちは何ができるのか、また現状の取り組みについて情報共有を含め参加者同士での意見交換を行いました。講話では、フードバンクかわさきが食品の配達だけでなく、食品以外の物の提供や就労支援、困りごとの相談にも応じる等多岐に渡って活動していることが分かりました。しかし、人手不足や食品を管理する場所不足、食品不足等の課題があるため、今後も活動を継続していくには、地域の方々からの食品や日用品、活動資金の寄付や情報提供、ボランティアの方々や活動へ参加して頂けることで貧困世帯の助けになる、といった内容のお話しがありました。



- 参加者の声**
- 食品だけではなくいろいろなものを提供するという事が分かりました。自主的に活動されて素晴らしいと思います。私も何かお手伝いが出来ればと思います。
 - 行政からの直接的な援助なしで運営をするのは大変だと思いますが、今後認知度が上がり多くの寄付が集まることを願っています。私自身もボランティア等参加したいと思いました。

「老人いこいの家」公開講座を開催しました

老人いこいの家を地域住民の皆様幅広く知っていただく目的で公開講座を開催しました。

「アロマのチカラを借りて心と身体のバランスを整えよう」を長尾・登戸で行いました。

匂いを嗅ぐことで脳に刺激を与えるとのお話しには皆さん、熱心にメモを取っていました。



朝用・夜用のルームスプレーを作成しお土産として持ち帰りました。

アロマテラピーについてお話を聞き、ルームスプレー作り



カードを作って献立を考え中



「脳トレや料理プログラム体験で楽しく認知症予防」を枡形・菅で行いました。

料理プログラムでは、日頃の知恵を出し合いカードを使って、新しいメニューを考えました。考えながら、身体を動かす料理は脳の活性化になるとのことで、男性参加者も興味深々で参加して下さいました。

ご寄付のお礼

～多摩区の地域福祉の増進にご協力いただき、誠にありがとうございます～

皆様から頂戴した寄付金品は、多摩区内で活動するボランティア団体や福祉施設への支援に活用させていただきました。

▶寄付者一覧【平成29年10月1日～平成30年1月31日】(順不同・敬称略)

●寄付金(計8件/473,408円)

・神奈川県立百合丘高等学校 ・宮部勲 ・日本女子大学教職員組合
・齋木 操 ・匿名1件 ・ベンリーたま ・川崎青色申告会

●寄付品 ・匿名1件(車いす) ・菅地区社会福祉協議会(DVD)

寄付のお願い

多摩区社会福祉協議会では、皆様からの寄付金を財源としてボランティア団体や障害当事者団体への活動費の支援など、地域福祉の推進に向けた取り組みを行っております。

フリーマーケットなどのイベントでの売り上げ、ご家庭の貯金箱に貯まったお金や臨時の収入の一部など、皆さまのあたたかなお気持ちをお寄せいただきたくお待ちしております。

また、個人の方は、所得税及び住民税の控除を受けることができます。法人の場合は、一定の限度額までを損金として取扱うことができます。

広報紙「多摩」音声版貸出を行っています。

ボランティアグループ「さんざし」さんのご協力のもと、広報紙「多摩」の音声版を作成しています。音声版の広報紙「多摩」の貸出しをご希望の方は、多摩区社会福祉協議会までお申し出ください。



▶申込・問合せ

多摩区社会福祉協議会
電話 935-5500 FAX 911-8119
メール
tamaku@csw-kawasaki.or.jp